

多治見市民病院

病院の概要

開設時期：昭和43年4月1日
開設者：高木 貴行
院長名：今井 裕一
病床数：250床
標榜科：内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、リウマチ科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、神経内科、肝臓内科、外科、乳腺外科、小児科、小児外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、形成外科、胸部外科、腎移植外科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科

医師数：41名
指導医師数：19名
外来患者数：307名／日
入院患者数：189名／日
所在地：岐阜県多治見市前畑町3-43
URL：http://kouseikai-tajimi-shimin.jp



病院の特徴

当院は、岐阜県東濃地区の中核都市である多治見市（人口約11万人）にあります。救急医療から common disease などのプライマリケアまで幅広い症例を経験し、初期臨床研修の到達目標を十分達成できます。当院では、将来、どの専門領域を専攻しても、高齢者医療の実践ができることを到達目標に掲げています。また、恵那市国民健康保険岩村診療所あるいは揖斐郡北西部地域医療センターの地域医療を実習し、地域包括的な医療を経験できます。さらに、愛知医科大学病院、岐阜大学医学部附属病院、中部国際医療センターと強い連携を結んでおり、それらの病院での高度で最先端な医療に触れることもできます。

院長メッセージ



今井裕一

当院は、1974年から市立多治見市民病院として地域医療を担ってきましたが、2010年4月から社会医療法人厚生会が指定管理を受けました。2012年8月1日から新病院での診療を行っています。私は、2017年4月から病院長に就任し、直ちに研修病院としての体制を整備し、2019年度から基幹型研修病院としてマッチングに参加しています。到達目標は、「高齢者医療を実践できる」にしています。救急外来で問診・診察・検査を行い、指導医と相談しながら medical decision を修得します。そして入院患者の診断と治療を行い、患者・家族に説明を実践します。事務と連携して退院調整して無事退院するまでの一連の流れを経験します。これを積み重ねることで経験値が上昇します。水曜日17時からは、内科総合カンファランスを行っています。診療科の垣根もなくコンサルトできます。さらに高齢者の呼吸器感染症・尿路感染症は、内科医全員が診療にあたり、総合的な臨床能力は確実にアップします。そのうえで、サブスペシャリティの専門医・指導医から消化器内科、循環器内科、腎臓内科、リウマチ膠原病内科、呼吸器内科、神経内科の知識とノウハウを教わります。外科は、消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科があります。消化器内科と消化器外科の連携もよく、合同カンファランスで手術予定も迅速に決定されます。整形外科では、人工関節センターがあり、多数の患者の診療にあたっています。医師としての第一歩を是非当院でスタートしましょう。皆さんのステップアップを病院全体でサポートします。

指導医メッセージ

当院の臨床研修の特徴は、①1年目は、内科で5ないし6か月、麻酔科2か月、救急部門で2か月研修し、医師としての基本を身につけます。単に4週毎にローテーションするスタイルはとりません。しかも、それぞれの研修医に適したスケジュールを調整します。②2年目には自由に選択できる期間が10か月と長く、自分自身で判断して将来の進路を見据えた選択期間としています。③2021年度からは、1学年4名枠ですが、個別の指導、形成評価を行ないつつスケジュールの調整を行ないます。④当院では、さらに当院にない診療科を選ぶ場合も、愛知医科大学病院・岐阜大学医学部附属病院あるいは中部国際医療センターで研修することも可能です。

研修医メッセージ

当院の初期研修プログラムは、内科研修・救急科研修から始まります。救急科研修では、ウォークイン・救急搬送患者のファーストタッチを行います。指導医の先生のもとで診察・検査を行い、病態の把握に努め、入院の必要性の有無を判断します。

内科研修では、入院が必要な患者さんの主治医として、指導医の先生とも相談しながら治療にあたります。各診療科をローテートしていく事になりますが、診療科が変わったとしても、引き続き主治医として同じ患者さんを受け持つことが出来ます。これにより、一人の患者さんが入院してから退院するまでの一連のプロセスを、主体性を持って経験することが出来ます。

また、当院の研修プログラムでは、厚生労働省が定める研修カリキュラムには準拠しつつも、ローテートする診療科の選択・順番・期間などの希望を相談して、自分に合った研修を行うことができます。各々の研修医の意向を汲み、一人一人に合った研修スケジュールを調整できる柔軟性は当院ならではの魅力だと思います。

最後に当直についてです。当直明けには朝カンファランスが開かれ、当直帯に受診された患者さんについての症例検討を行います。今井病院長、研修医の仲間たちと振り返りを行い、様々な角度からのフィードバックを得ることができます。

是非一度見学に来て、実際に当院の雰囲気を感じてみてください。お待ちしております！

研修スケジュール

	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48	50	52
1年目	内科 24週												救急科 12週				麻酔科 4週		小児科 4週		産婦人科 4週		外科 4週			
	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48	50	52
2年目	内科 4週				地域 4週				精神 4週				選択 40週													

- 産婦人科、精神科を協力病院にて各4週間研修。
- 地域研修は岐阜県恵那市の岩村診療所又は揖斐郡北西部地域医療センター。
- 1年次後半より週1日一般外来開始。
- 選択科目40週のうち24週は、当院以外の愛知医科大学病院、岐阜大学医学部附属病院、中部国際医療センター、岐阜県立多治見病院及びのぞみの丘ホスピタルでの選択科目から選択して研修することもできます。
- 救急当直研修は、1カ月約4回で、2年間（24カ月）で約96回行います。

研修協力病院・施設

愛知医科大学病院
岐阜大学医学部附属病院
中部国際医療センター
のぞみの丘ホスピタル
地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院
恵那市国民健康保険岩村診療所
揖斐郡北西部地域医療センター

後期研修・専門研修

当院では、内科、外科、整形外科、小児科、麻酔科、皮膚科、眼科、病理診断科での専門研修が可能です。特に内科プログラムは2021年度から基幹型プログラムがスタートしています。さらに中部国際医療センター、岐阜市民病院、愛知医科大学病院、岐阜大学医学部附属病院などと連携しています。外科は岐阜大学・愛知医科大学プログラム、整形外科と小児科は愛知医科大学プログラムになります。さらに、内科系サブスペシャリティ専門医では、腎臓専門医、リウマチ専門医、内分泌代謝内科の教育病院ですが、その他の内科系サブスペシャリティ専門医も取得が可能です。

研修プログラムの目標

プログラム終了時点で、確実に高齢者医療を実践できるようになります。主担当医となり患者の入院から退院までの経過を一貫して診療にあたります。

研修プログラムの特徴

- ①救急対応能力、②十分な手技の習得、③患者・家族への説明、④当直明けのカンファランス、⑤外来診療の実践、⑥選択診療科の調整可能、⑦長期間の自由選択

募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者
募集人員：1年次4名
身分：常勤（臨床研修医師）
給与：※副当直手当は別途支給
初期研修1年目 700万円／年（諸手当含む）
初期研修2年目 850万円／年（諸手当含む）
住居：2DKアパート（家賃21,000円）／月、駐車場完備、エアコン完備 又は家賃補助（住宅手当を支給（上限25,000円）※単身者のみ）
保険：健康保険加入、厚生年金、雇用・労災保険加入、医師賠償責任保険に病院で加入（個人加入は本人による）

連絡先

担当者：青山
電話番号：0572-22-5211（内線）
FAX：0572-24-0705
E-mail：resident@kouseikai-tajimi-shimin.jp

交通案内

